



ユーザ デバイス プロファイルの確認

[UDP の検証] を選択すると、システムは確認ルーチンを実行して、CSV データ ファイルが要求されたフィールド（たとえば、デバイス プロファイル名、および電話番号）をすべて読み込んでいるかどうかをチェックし、最初のノード データベースとの不一致がないかを確認します。

始める前に

- 追加するデバイス用のデバイス プロファイル テンプレートを用意します。1 回線のユーザ デバイス プロファイルの追加には、複数回線のユーザ デバイス プロファイル テンプレートが使用できます。詳細については、[P.35-3 の「ユーザ デバイス プロファイル用の Cisco Unified Communications Manager 一括管理 \(BAT\) テンプレートの作成」](#)を参照してください。
- ユーザ デバイス プロファイルに固有の詳細情報を含む CSV データ ファイルを用意します。次のオプションを参照してください。
 - [P.34-3 の「BAT スプレッドシートを使用したユーザ デバイス プロファイル CSV データ ファイルの作成」](#)
 - [P.38-2 の「ユーザ デバイス プロファイルの確認」](#)

ユーザ デバイス プロファイルの確認

CSV データ ファイルのユーザ デバイス プロファイル レコードを確認する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [ユーザデバイスプロファイル] > [UDP の検証] の順に選択します。

[ユーザデバイスプロファイルの確認 (Validate User Device Profiles Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 CSV データ ファイルに対応する挿入オプションを選択します。

- [UDP 固有の詳細の確認 (Validate UDP Specific Details)] : ファイル形式を使用するユーザ デバイス プロファイル レコードを確認する場合。
- [UDP すべての詳細の確認 (Validate UDP All Details)] : [すべての詳細] オプションを使用して生成されたエクスポート ファイルからのユーザ デバイス プロファイル レコードを確認する場合。

ステップ 3 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この特定のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 4 [UDP 固有の詳細の確認 (Validate UDP Specific Details)] オプションを選択する場合は、[UDP テンプレート名 (UDP Template Name)] フィールドで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) ユーザ デバイス プロファイル テンプレートを選択します。

ステップ 5 [送信] をクリックすると、選択した CSV データ ファイルとデータベースが検証されます。

ジョブが、[一括管理] メニューの [ジョブスケジューラ] オプションに作成されます。ジョブ スケジュールを変更するには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。ジョブの詳細については、第 64 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.65-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

関連項目

- ユーザ デバイス プロファイル用の Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) テンプレートの作成 (P.35-3)
- BAT スプレッドシートを使用したユーザ デバイス プロファイル CSV データ ファイルの作成 (P.34-3)
- ジョブのスケジュール (P.64-1)
- BAT ログ ファイル (P.65-4)